

第198回

北大小児科 特別集談会

2026年 **10月29日(木)**

第3講堂 + ZOOM

北大医学部臨床講義棟1階

ハイブリッド開催



パソコンでの参加用URLをご希望の方は、下記アドレスにご連絡下さい

北大小児科医局 Tel: 011-706-5954

E-mail: secretary-ped@med.hokudai.ac.jp

※どなたでもお気軽にご参加ください！

◎17:20～ **落合 亮太** 先生

筑波大学 医学医療系 教授



**「見えていること、まだ見えていないこと
-小児期発症疾患を有する方の生活と就労支援」**

小児期発症疾患を有する方の生活や就労には、私たちがまだ十分に気づけていない困りごとがあります。過去の企業対象調査、病状説明支援ツール、全国心臓病の子どもを守る会の生活アンケート、移行期医療支援センターの全国調査を手がかりに、見落とされているニーズと認知・実装のギャップを紹介します。当事者の声に立ち返り、医療と社会をどうつなぐかを皆さんと考えたいと考えています。

◎18:00～ **中澤 誠** 先生

元 日本小児循環器学会理事長



**「私たちは多くの事を知らない・・・
どうする？」**

先天性心疾患(CHD)の原因について、また、CHD手術の歴史は人の寿命より短く真の長期予後について「私達は多くの事を知らない」。では、どうする？まず「多くの事を知らない事」を知る事で、そのため臨床医は「患者をよく診る事」に尽きる。患者に知らない事を聞かれたらストレスだが、そのストレスは自分を成長させる機会でもある。全てを知っている人はいない。その中で信頼を得るには人間性をもって相手と対峙することで、私達は医師としての専門知識の向上とともに人間性の涵養が求められ、それがAI社会を生き残る術となる。